

**二中は、令和2年度から
コミュニティ・スクールをはじめます!!**

地域の代表の人たち(学校運営協議会)と学校の課題を共有しながら、協働していろんなことやります!!

**町の大人たちに人生の先輩として、
社会で生きていくことの楽しさ・厳しさを生徒に伝えてもらいます!!**



**先生たちも、町の人たち
とつながって一緒に楽し
く活動します!!**



**二中の生徒たちが町の中でい
ろんな体験をして、地域のこと
や自分の人生のこと、大切なル
ールについて考えていきます。**

**二中の生徒たちが、いろんな
成功や失敗、楽しいこと、くやし
いこと、試行錯誤しながら、生き
る力につけていきます。**

**二中の生徒たちが、太田
郷・龍峯町へ出かけて、い
ろんな人と出会います!!**

二中がコミュニティ・スクール(C・S)をはじめる理由

これからの学校は、変化の激しい社会の動向にしっかりと目を向け、学校の教育課程を工夫し、子供たちの将来を見据えた教育活動を開拓する必要がある。新学習指導要領では、保護者や地域住民との情報や課題を共有し、「これからの時代を生きる子供たちのために」という共通の目標・ビジョンを設定し、同じ思いで日々の教育活動を進めていくことが求められている。そのためには、多くの地域住民や保護者にも、学校と方向性を合わせ、“一体となって” 子供たちの成長に関わってもらえるような体制を作る。「信頼できる大人と関わり自己との関係を見出す機会(キャリア)」をたくさん作り、生徒たちに社会で生きていく力(基礎的・汎用的能力)を身につける機会をたくさん設定することが望ましい。そのスキルとして二中は「コミュニティ・スクール」を活用する。

二中コミュニティ スクール

スタートまでに

R1 年度

5月 学校評議委員会

C・Sについて委員に説明し、本会を『学校運営協議会』設置準備委員会と位置付ける

6月～12月 教育委員会との協議

学校教育課の担当者と協議を重ねる。①市教委の指定、②予算、③教育委員会規則の改正等について

7月～1月 教職員への研修

文科省作成の資料及び二中の実態に即した活シミュレーションを使って、4回の研修

11～2月 関係機関への説明

スタートした際、協力・協働をお願いする校区の関係機関に C・S の説明と事前協議

12～1月 校区への広報

校区への学校だよりで、次年度からスタートすることを広報

2月 学校評議委員会

次年度の学校経営方針について説明し承認をいただく。また、学校運営協議会委員を推薦していただく

R2 年度

5月 第一回学校運営協議会

二中 C・S の目的

- 生徒が生活する地域の住民と学校の教育方針や課題を共有し、変化の激しい社会をたくましく生きていく力の基礎を地域で育む。
- 多くの地域住民に多面的な視点で生徒の成長に関わってもらい、生徒が現実社会で生きていくことの苦労や喜びを体験させる。
- 生徒が学校以外でいろんな立場の人たちと関わりながら、試行錯誤したり自分を見つめなおしたりすることでキャリアを育成する。
- 生徒が、改めて地域のよさを見つめなおし、地域の活性化のために貢献する意欲を育む。
- 教職員がマネジメントすることで、積極的に地域とつながる。



二中学校運営協議会

2月	第4回学校運営協議会	運営協議会委員 校長	本年度の総括 次年度の二中学校経営基本方針についての審議と承認
4月		校長 教育委員会	学校運営協議会委員の委嘱 C・Sの概要説明
5月	第1回学校運営協議会	運営協議会委員 学校職員全員	二中C・Sの趣旨・役割の共通理解 学校経営方針及び二中の教育的課題の共有 C・S活動について教職員と熟議及び連絡調整
7月	第2回学校運営協議会	運営協議会委員 学校職員全員	先進的な取組についての勉強会 C・S活動について教職員と熟議及び連絡調整
10月	第3回学校運営協議会	運営協議会委員 校長	次年度のC・S活動についての意見交換と学校への提案 次年度の教職員人事異動についての協議と提案

二中コミュニティスクール

連絡調整・協働

二中 学校運営協議会

委員 10名ほど

太田郷町民
龍峯町民
二中OB
教育行政
学校職員
地域コーディネーター

熟議

学校経営方針の理解
学校の課題の共有
CS活動の役割分担

二中コミュニティ・スクール活動

7月 2年生 職場体験活動 二中生の元気で地区を活性化

6・12月 3年生 校区の高齢者のみなさんを手助けしよう

7月 1年生 民生委員と合同給食 校区の民生委員と情報交換

8月 合唱部 太田郷・龍峯町 ふるさと夏祭りで二中の歌声を

9月 全学年 体育大会 地域の人たちに元気のパワーを

9月 合唱部 太田郷・龍峯町の敬老会 高齢者に二中の元気を

11月 全学年 文化祭 二中の日々の取組を地域に発信

11月 合唱部・人権委員会 太田郷ふれあい祭りを盛り上げよう

11月 人権委員会 人権講演会 みんなで人権について考えよう

2月 3年生 幼稚園実習 人生の先輩として幼児と触れ合う

3月 1年生 郷土料理実習 校区の婦人会と調理で交流

年間火曜日朝 ボランティア委員と有志 地域の清掃・あいさつ運動ごみ拾い

運営協議会委員がやること

連絡・調整

- ① 生徒が活動する機関や組織・人と事前に打ち合わせをする。
- ② 学校の担当者の思い地域の人伝え、地域の人の希望等を聞き取り学校に伝える。

協 働

- ① 活動に参加し、生徒を見守ったり、指導したりする。
- ② 活動のための裏方をやる

熟 議

- ① 学校の経営方針や課題等を自分のこととして受け止めて関わっていくよう協議する。
- ② 自分の立場で担当する活動が、目指す趣旨に沿って行われるよう、学校関係者とシミュレーションし、スケジュールづくりや役割分担を企画する。

校長がやること

教育委員会・関係機関との連絡

学校運営協議会をマネジメント

- ① 事前に、会議で何を話し合うのか、どんな意見を求めるのか、どんな役割を依頼するのか等を委員に伝えておく。委員の会への参画意欲を高めておく。
- ② 各委員の役割を明確にしておく。書く委員がそれぞれの立場で C・S 活動のどの部分に責任をもって協働するのか伝えておく。委員の責任感を自覚させる。
- ③ 教職員と委員をつなぐ。互いに連携する場を意図的に設定する。
- ④ 委員たちが、他地域の C・S 等について学ぶ研修を企画。

教職員・C・S 担当がやること

教職員

- ① 新学習指導要領に示された『社会に開かれた教育課程』の意味と『教員のマネジメント』について認識を深める。
- ② C・S の趣旨と本校で取り組む意義について共通理解を図る。
- ③ 自分たちも楽しんで地域の人とつながる意識を持つ。運営協議会委員とともにマネジメントを楽しむ
- ④ 他地区の C・S の取組を学び、マネジメントに取り入れる。

C・S 担当者

- ① 地域の関係機関等と事前に協議する。
- ② 学校の教育課程と C・S の年間活動計画を調整する。
- ③ 地域の人材や組織・関係機関についての情報を収集する。

二中コミュニティ スクール

学校運営協議会 委員



先生たち

みんなの思いは・・・

「自分の立場で、学校・生徒と町の人をつなぎます。先生たちと一緒に活動を企画・運営します。」

「人生の先輩として、生徒たちを認め、ほめ、励まし、鍛えます。」

「マネジメントします。学校運営協議会委員と一緒にになって、CS活動を企画運営します。」

「生徒が社会で生きていくための能力(人間関係・社会形成、自己理解・管理、課題対応、キャリアプランニング)を、CS活動で育てたい。」

「町を自分たちで元気にしたい。」「町のことを知りたい。」「いろんな大人たちと関わりたい。」「町の中でいろんな経験をしたい。」「失敗もします。うまくいかないこともあります。迷惑もかけます。泣きたくなることもあります。そうやって成長します。」

生徒たち



「二中の生徒たちと一緒に何かをやりたい。学校に関わりたい。」「地域の大人として、生徒たちに社会で生きる力をつけてやりたい。」「生徒たちと一緒に町のことを考えたい。町の課題に取り組みたい。」「二中のことを知りたい。町のことを知ってほしい。」「町の活性化を手伝ってほしい。」

「私たちも楽しんで、学校運営協議会委員や町の人たちと一緒にCS活動をやります。」「マネジメント力をつけたいのです。」

町の人たち

